

役立つ防災情報



今回のテーマ「ペットとの避難」

ペットを飼育している方は、災害時には自分や家族だけでなく、ペットの安全確保もする必要があります。ペットとの避難について知り、十分な備えをしておきましょう。

1. ペットとの避難の基本的な考え方

- ・飼育しているペットを同行して、避難所などの安全な場所に避難する。(同行避難)
- ・各避難所の指定スペースでのみ、ペット避難を受入れる。
- ・どこの避難所でどのような方法のペット避難ができるか、事前に確認し、もしものために日ごろから準備する。

2. ペット避難の受入れ方法

①屋内ペット避難



屋内の指定されたスペースに、ペットを入れたケージまたはキャリーバッグを置いて飼育

※ケージまたはキャリーバッグの持参が必要

※飼い主とペットは原則別々のスペースで生活

・対象:ケージ・キャリーバッグで飼育できる動物(小型・中型犬、猫、鳥、うさぎ、ハムスターなど)

②屋外ペット避難

屋外の指定されたスペースで、首輪とリードで柱などにペットを繋ぎ止めて飼育



※首輪とリードの持参が必要

・対象:大型犬、ケージ・キャリーバッグに入っていない動物

③車内ペット避難



避難所の駐車場に駐車した避難者自身の自家用車の中でペットを飼育

・ペットが車外に飛び出さないよう注意

・飼い主はエコノミークラス症候群に注意

3. 避難所におけるペットの飼育

- ・ペットの飼育は、飼い主が責任をもって行う
- ・避難所には、ペットフードやペットシートなどの備蓄品はないため、普段からペットの世話に必要なものを備蓄(概ね3日分)し、必ず持参する

必要なペット用品の例

ケージ
キャリーバッグ



首輪・リード



ペットフード

水・食器類



ペットの写真



トイレ用品
(ペットシート・猫砂)



毛布・ビニール袋

ガムテープなど



4. 日常のしつけと健康管理

①しつけ

緊急時に安全に避難し、避難所でトラブルなく飼育できるように、基本的な「しつけ」を日ごろからしておきましょう。

- ・ケージやキャリーバックの中での生活に慣れさせる
- ・ペットシートや猫砂など、ケージ内でのトイレに慣れさせる
- ・人やほかの動物に対して攻撃的にならないように、幼少期から社会に慣れさせる

②健康管理

避難所では獣医による診察は受けられません。日ごろから感染症予防・持病対策をしておきましょう。

- ・感染症予防としてワクチン接種を行いましょ。
- ・定期的なシャンプーや爪の手入れをしておきましょう。

ペット避難についてさらに詳しく記載した、「避難所におけるペット避難ガイドライン」をHPに掲載していますのでご確認ください。

https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/soshiki/bosaitaisakushitsu/anshin_anken/1/2/2408.html

ペットと一緒に安全な避難生活を送るために、日頃からしっかり対策・備えをしておきましょう。

【問合せ先】岩見沢市役所 防災対策室

0126-35-4823